

## ごあいさつ

財団法人 日本ソフトテニス連盟  
会長 林 敏 弘



皆様におかれましては、平成24年のシーズンを間近に控え心躍る日々と推察申し上げます。

昨年は3月11日に発生した「東日本大震災」が未曾有の大災害になり、この大震災に伴い発生した福島第1原子力発電所の重大事故、これらの災害によって東北の皆様の生活が大きく狂い大変な年となりました。

ソフトテニスの仲間たちも、日常の生活やソフトテニス活動にご苦勞を強いられていることと思います。一日も早い復興を、心よりお祈りしております。

昨年は、第14回世界ソフトテニス選手権大会が10月27日から11月1日まで韓国・聞慶市において開催されまし

た。日本選手団は、男女ダブルスで優勝、準優勝を独占し、金メダル2個、銀メダル4個、銅メダル1個を獲得する素晴らしい成果を挙げてくれました。皆様のご声援に感謝いたします。

今年は、「ソフトテニス長期基本計画2012」が、新たにスタートする年です。これからの5か年を計画期間とするもので、日本で生まれたソフトテニスを世界に誇る格調高いスポーツとして普及振興するため、「ソフトテニスの普及振興事業」、「ソフトテニスの競技力向上事業」、「ソフトテニスの国際振興事業」の3つを柱に位置付けて、当連盟の総力を挙げて取り組んでまいります。

また、今年は公益財団法人への移行を目指し新たなスタートの年にしたいと考えています。

新年度を迎えるにあたり、ソフトテニスの国内外の普及振興を図るとともに、競技力の向上に努めてまいることをお誓いし、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

## 第14回 世界ソフトテニス選手権大会 (2011 / 韓国・聞慶市)

世界選手権大会ダブルス男子  
優勝・準優勝を独占！



世界選手権大会ダブルス女子  
優勝・準優勝を独占！



世界選手権大会日本選手団



写真提供：ソフトテニスホームページ

## 世界選手権大会入賞者

◆ 国別対抗  
準優勝

団長：神崎 公宏  
日本男子チーム

監督：斉藤 広宣 コーチ：中堀 成生 トレーナー：川上 晃司  
選手：篠原 秀典・小林 幸司・菅野 創世・玉川 裕司・長江 光一・中本 圭哉

準優勝

日本女子チーム

監督：田中 弘 コーチ：上松 明裕 トレーナー：畑田 麻美  
選手：杉本 瞳・森原 可奈・佐々木 舞・大庭 彩加・上原 絵里・小林 奈央

◆ 男子ダブルス  
優勝  
準優勝

菅野 創世・中本 圭哉 ペア  
篠原 秀典・小林 幸司 ペア

◆ 女子ダブルス  
優勝  
準優勝

佐々木 舞・大庭 彩加 ペア  
杉本 瞳・森原 可奈 ペア

◆ ミックスダブルス  
第3位

杉本 瞳・中本 圭哉 ペア

# 平成23年度 全日本選手権大会 優勝者



篠原秀典・小林幸司  
日体桜友会(東京都)・ミスノ(東京都)



杉本 瞳・森原可奈  
東芝姫路(兵庫県)

## 平成23年度 各層の全日本チャンピオン

大会名	男 子		女 子	
全日本小学生選手権大会	上岡俊介・濱田 迅	和歌山L.C.C(和歌山)	道中るい・田川美鈴	熊野ソフトテニススポーツ少年団(三重県)
全国中学校大会	新子 徹・星野慎平	片塩中学校(奈良県)	花 泉美・増田 文	和歌山信愛女子短期大学附属中学校(和歌山県)
全国高校選手権大会	船水雄太・九島一馬	東北高等学校(宮城県)	森田奈緒・松家 梓	広島翔洋高等学校(広島県)
全日本学生選手権大会	増田健人・柴田章平	同志社大学(学 連)	水松彩華・東海あかね	日本体育大学(学 連)
全日本社会人選手権大会(一般)	松口友也・山口大地	ヨネックス(東京都)・日体桜友会(東京都)	杉本 瞳・森原可奈	東芝姫路(兵庫県)
全日本社会人選手権大会(成年)	濱口 昇・末田路博	名古屋アカエムクラブ(愛知県)・東邦ガス(愛知県)	寺田祥子・昇扶美代	五十鈴クラブ(三重県)・ファニークラブ(大阪府)
全日本シングルス選手権大会	長江 光一	NTT西日本広島(広島県)	杉本 瞳	東芝姫路(兵庫県)
全日本シニア選手権大会	45 上松明裕・橋本康徳	岡山市役所(岡山県)・京都市役所(京都府)	宮尾真由美・平山浩子	所沢ペアート(埼玉県)
	50 黒岩真次・井下克也	宮崎ソフト(宮崎県)・浦和あずま(埼玉県)	山本悦子・坂井真由美	すみれクラブ(愛知県)・和歌山L.C.C(和歌山県)
	55 篠邊 保・村上泰夫	東邦ガス(愛知県)・商友クラブ(静岡県)	江利角富美子・安達伸子	スポーツマンシップ(大分県)
	60 袴田文雄・菅野勝郎	能代支部(秋田県)・陸前高田市協会(岩手県)	植山正子・金野英子	浦和けやき・ふじみ野OTA(埼玉県)
	65 木藤勝敏・熊田章甫	大阪OB軟庭会(大阪府)・TEAM KUMA(岐阜県)	高崎恵美子・林 孝江	高崎中央クラブ(群馬県)・川口クラブ(埼玉県)
	70 舎川清文・光安 允	小群ソフトテニス連盟(福岡県)	喜利ミナ子・加藤鈴子	洛西クラブ・EFT(京都府)
	75 堤 国彦・松尾武雄	朝霧クラブ(京都府)・大阪庭球倶楽部(大阪府)	大久保初子・関 寿子	すみれクラブ(愛知県)・寿美礼クラブ(東京都)

### 2012年ナショナルチーム選手

【男 子】			【女 子】		
氏 名	所属支部	所属団体	氏 名	所属支部	所属団体
篠原 秀典	東京都	日体桜友会	杉本 瞳	兵庫県	東芝姫路
小林 幸司	東京都	ミスノ	森原 可奈	兵庫県	東芝姫路
松口 友也	東京都	ヨネックス	上原 絵里	東京都	ナガセケンコー
山口 大地	東京都	日体桜友会	阿部 悠梨	東京都	ナガセケンコー
品川 貴紀	学 連	早稲田大学	石井 友梨	学 連	早稲田大学
中本 圭哉	学 連	早稲田大学	山下ひかる	山口県	山口県体協クラブ
堀 晃大	広島県	NTT西日本広島	深澤 昭恵	兵庫県	東芝姫路
長江 光一	広島県	NTT西日本広島	宮下 愛未	兵庫県	東芝姫路
増田 健人	学 連	同志社大学	佐々木 舞	広島県	NTT西日本広島
柴田 章平	学 連	同志社大学	大庭 彩加	広島県	NTT西日本広島
村上 雄人	広島県	NTT西日本広島	埜田 光理	広島県	NTT西日本広島
船水 雄太	宮城県	東北高校	小林 美咲	広島県	NTT西日本広島
九島 一馬	宮城県	東北高校	小林 奈央	香川県	尽誠学園高校
桂 拓也	学 連	早稲田大学	平田 清乃	東京都	ナガセケンコー
菅野 創世	埼玉県	川口市役所	徳川 愛実	富山県	タカギセイコー
玉川 裕司	三重県	三重高クラブ	横山 温香	三重県	三重高校
鹿島 鉄平	東京都	ヨネックス			
井口 雄一	東京都	ヨネックス			

### 2012年全日本U-20選手

【男 子】			【女 子】		
氏 名	所属支部	所 属	氏 名	所属支部	所 属
井口 雄介	学 連	日本体育大学	東海あかね	学 連	日本体育大学
小栗 元貴	学 連	早稲田大学	森田 奈緒	広島県	広島翔洋高校
萩原 聖哉	三重県	三重高校	松家 梓	広島県	広島翔洋高校
櫻本 泰昭	大阪府	上宮高校	与座摩璃亜	和歌山県	和歌山信愛女子短大附属高校
林田 和樹	学 連	日本体育大学	勝村 真子	三重県	三重高校
内山 陸基	学 連	早稲田大学	百田 志穂	福岡県	福岡県立女子高校
鈴木 琢巳	宮城県	東北高校	藤崎 安葉	東京都	ナガセケンコー
能口 拓磨	学 連	早稲田大学	柏原真由美	学 連	早稲田大学
丸中 大明	学 連	東北高校	百田 志穂	福岡県	福岡県立女子高校
早川 和宏	学 連	立命館大学	近藤めぐみ	福岡県	中村学園女子高校
白井 拓巳	学 連	明治大学	川原梨紗子	鹿児島県	鹿児島南高校
吉田 悠人	学 連	中央大学	学 連	学 連	日本体育大学
林 大喜	大阪府	上宮高校	奥村すずな	学 連	日本体育大学
廣田 晃一	奈良県	高田商業高校	赤瀬 早紀	岐阜県	太平洋工業
大熊 友也	学 連	明治大学	熊井 瞳	学 連	日本体育大学
清原 毅文	大阪府	上宮高校	佐々岡瑞穂	広島県	広島翔洋高校
青木 雅彦	学 連	愛知学院大学	小泉友梨恵	和歌山県	和歌山信愛女子短大附属高校
			長尾 結衣	和歌山県	高岡西高校

### 2012年全日本U-17選手

【男 子】			【女 子】		
氏 名	所属支部	所 属	氏 名	所属支部	所 属
今田 瑞基	岡山県	岡山理科大学附属高校	花 泉美	和歌山県	和歌山信愛女子短大附属中学校
新子 徹	奈良県	片塩中学校	増田 文	和歌山県	和歌山信愛女子短大附属中学校
星野 慎平	奈良県	片塩中学校	百田 琴音	佐賀県	糟野市立糟野中学校
掃部 裕介	大阪府	上宮高校	小谷菜津美	広島県	広島翔洋高校
岡本 光生	広島県	広島翔洋高校	平久保安純	和歌山県	和歌山信愛女子短大附属高校
須藤 大貴	奈良県	高田商業高校	木村 理沙	徳島県	脇町高校
加藤 顕成	広島県	広島翔洋高校	下田 夢奈	広島県	広島翔洋高校
山内 雅樹	山口県	長府高校	西村 美咲	和歌山県	和歌山信愛女子短大附属高校
塩田 顯	奈良県	高田商業高校	半谷 美咲	東京都	文化学園大学杉並高校
工藤 浩輔	宮城県	東北高校	中川 瑞貴	富山県	高岡西高校
三木 泰直	奈良県	高田商業高校	泉谷 朋香	大阪府	昇陽中学校
黒坂 徹	香川県	尽誠学園高校	佐々木聖花	東京都	文化学園大学杉並高校
櫻本 泰直	大阪府	上宮高校	高畑 菜富	富山県	高岡西高校
山口 晃輝	香川県	尽誠学園高校	山口 真未	佐賀県	佐賀清和高校
船水 雄太	香川県	栗石中学校	秋田奈央美	和歌山県	和歌山信愛女子短大附属高校
宮田 裕章	香川県	善通寺市立東中学校	尾上 胡桃	広島県	鈴峯女子中学校
安藤 圭祐	岐阜県	中京高校	澤本 瑠衣	和歌山県	和歌山信愛女子短大附属中学校
大澤 知泰	群馬県	東京農業大学第二高校			
伊藤 健人	宮城県	東北高校			
井原 陽平	大阪府	上宮高校			

### 2012年全日本U-14選手

【男 子】			【女 子】		
氏 名	所属支部	所 属	氏 名	所属支部	所 属
上松 俊貴	岡山県	岡山理科大学附属中学校	権田 芽伊	東京都	千代田女学園中学校
濱田 迅	和歌山県	和歌山LCC	道中るい	三重県	熊野ソフトテニススポーツ少年団
上岡 俊介	和歌山県	和歌山LCC	田川 美鈴	三重県	熊野ソフトテニススポーツ少年団
岩本 修汰	大阪府	上宮中学校	笠井菜々子	高知県	中村ジュニアソフトテニスクラブ
戸畑 勝喜	福岡県	直方第二中学校	吉田 葉里	大阪府	昇陽中学校
長尾 景陽	群馬県	前橋富士見中学校	木村 日子	長野県	三陽中学校
内本 隆文	大阪府	上宮中学校	小山 舞	福島県	西郷第一中学校
丸山 海斗	大阪府	上宮中学校	草野亜衣奈	群馬県	館林第四中学校
吉信 克也	岡山県	岡山理科大学附属中学校	副島 春菜	佐賀県	糟野市立塩田中学校
須藤 虎歌	群馬県	高崎群馬中央中学校	三隅はすは	長崎県	南島原市立深江中学校
杉山 奨悟	和歌山県	岡山理科大学附属中学校	土井あみ	三重県	井田若草ソフトテニス少年団
中平 慎吾	高知県	東中筋中学校	古田 麻友	兵庫県	朝日中学校
田邊 雅人	福島県	西郷第二中学校	花園 優帆	東京都	福城第三中学校
満端 亮二	千葉県	横芝光町立横芝中学校	大貫 彩香	福島県	西郷第二中学校
金子 大祐	茨城県	取手第一中学校	安生 朋生	愛知県	東海市立加木屋中学校
山根 稔平	鳥取県	浜田ジュニア	平田 葵	大分県	国東市立安岐中学校
大塚 勇輝	和歌山県	和歌山市立西和中学校	貝瀬ほのか	新潟県	見附市立西中学校
西澤 洗紀	長野県	穂高東中学校	横田 真央	大分県	大分市立神崎中学校
米澤 要	石川県	珠洲市立立立中学校	元村 華楠	長崎県	諫早市立諫早中学校
広岡 宙	兵庫県	三田ジュニアクラブ	奥嶋 美佐	愛媛県	西条市立東予西中学校

平成24年度事業計画(平成24年4月1日～25年3月31日)

I. ソフトテニスの普及振興事業

- ソフトテニス競技規則の制定
  - 全日本ソフトテニス選手権大会等開催
    - 国内競技会を大会実施要項に基づき、別表のとおり実施する。
      - 平成24年度大会日程および会場
      - 大会要項の改訂
    - 大会の検討と大会運営の改善
      - 全日本選手権大会の検討
      - 全日本団体選手権大会の検討
      - 国民体育大会の出場枠の検討
      - 日本マスターズの充実
      - 大会参加申込のシステム化
      - 主催大会開催地への支援
      - 主催大会における大会運営マニュアルの活用と役割分担の明確化を図る。
      - ゼッケンの統一化
  - 地域ソフトテニス大会支援
    - 地域等における競技会開催に、次のとおり補助を行う。
      - 9地区選手権大会
      - 地区高校選抜大会
      - 10地区中学選手権大会
      - 壮年東西対抗大会
      - 超壮年東西対抗大会
      - 全日本学生同好会大会
  - 加盟団体が行うソフトテニスの競技力向上と普及振興支援
    - 地域グループ育成のため、次の事業を実施する。
      - 地域クラブ・ジュニアクラブ等の育成
      - 支部中学校大会への補助
      - 支部レディース大会への補助
      - ソフトテニス週間の実施
      - ソフトテニス愛好者増加対策
      - 指導者バンク(地域)の活用促進
      - 総合型地域スポーツクラブの研究
      - 傷害補償制度の徹底
  - ソフトテニスの広報活動
    - メディア対策
      - 新聞報道の充実
      - テレビ放映の充実
    - ホームページの運営
      - ホームページ等の充実
    - 広報誌発行
      - 機関誌「ソフトテニス」の毎月発行
      - 会員報の年2回発行
      - 大会記録集の発行
    - ソフトテニスの歌の活用
    - スポーツ活動を通して環境保全ならびに青少年の健全育成を図る。
      - 大会や強化事業を実施する際にごみの分別等を行うなど、スポーツ活動を通して環境保全を図る。そして、スポーツをする人たち、見る人たちも相等しく地球人として環境保全を推進するため、物を大切に生活習慣を徹底する。
      - スポーツマンとしての倫理教育、青少年の健全育成の推進
  - ソフトテニスの表彰・顕彰
    - 各種表彰を次のとおり行う。
      - 国内関係表彰
      - 国際大会入賞
      - 特別表彰
  - ソフトテニスの技術等級・指導員資格認定
    - 技術等級制度規程に基づき、次の事業を実施する。
      - 名誉指導員の認定
      - 技術等級の認定(大会実績、検定会)
      - 技術等級システムを活用して認定手続きと資格者管理の効率化の推進と、大会申込システムとの連動を図る。
      - 技術等級資格取得者増大するため、大会参加条件の見直しを図る。
  - ソフトテニスの審判員資格認定
    - 公認審判員規程に基づき、次の事業を実施する。
      - マスターレフェリーの認定(50歳以上)
      - マスターアンパイヤーの認定(50歳以上)
      - 1級審判員検定会・研修会の実施
      - 1級審判員の認定(新規、更新)
      - 2級審判員の認定(新規、更新、ジュニア審判員からの移行)
      - ジュニア審判員普及の促進(小学生と中学生を対象とする)
      - 派遣審判員の実施
      - 審判技術DVDの活用
      - 国際公認審判員の日本国内での認定を実施する。
      - 審判認定システムを活用して認定手続きと資格者管理の効率化の推進と、大会申込システムとの連動を図る。
  - ソフトテニス用具・用品、施設認定
    - 愛好者・競技者が安全で快適にプレーができるよう用具・用品、施設の公認に関し、次の事業を行う。
      - 新規公認・更新手続きの承認
      - ラケットの証紙、ネットの証書の発行
      - 競技者に分かりやすいユニフォーム等着用基準の見直しを図る。
- II. ソフトテニスの競技力向上事業
- ソフトテニスの競技力向上、医学研究調査
    - 競技力向上
      - \*世界No1の実力の維持を目指した競技力向上に関し、次の事業を実施する。
        - 競技者育成プログラムの推進
        - ナショナルチーム及び日本代表チームの強化合宿
        - 全日本U-14、U-17、U-20の強化合宿
        - 競技力向上のための海外遠征
        - 強化スタッフの各種大会視察
        - 競技力向上のための調査・研究
    - 医学研究調査
      - 医学スタッフによるサポート及びトレーナーズテントの設置を実施する。
      - 各種フィットネステストデータを分析し、競技力向上に役立てる。

- ③医学研究結果を機関誌、ホームページにより報告し、指導現場に役立てる。
  - (3)アンチ・ドーピング
    - アンチ・ドーピングに関する教育・啓発活動
    - 国内大会におけるドーピング検査の実施
  - ソフトテニスの指導者育成
    - 指導者養成
      - 指導者養成事業の推進
      - 全国小学生・中学生・高校生指導者の合同研修会
      - 指導者バンク(日本連盟)の推進
      - 指導者バンク(地域)の活用推進
- III. ソフトテニスの国際振興事業
- ソフトテニスの国際振興
    - 国際普及活動の推進
      - 国際組織(ISTF、ASTF)内での指導的立場に基づく国際性の向上
      - 普及対象国への指導者、選手の派遣および普及対象の選手、指導者を日本での研修受入れ
      - ジュニア、シニア等の交流促進
      - 普及対象国への支援についての整理、調整
      - 用具の提供、流通の促進
      - 普及指導用諸教材の整理と追加作成して、普及活動に活用する。
      - 国際普及親善活動に結びつく、支部活動に対して「国際親善大会補助費」を助成する。
    - 国際指導体制、審判体制の充実
      - 国際指導員制度(ASTF)の推進
      - 国際審判員制度(ASTF)の推進
      - ISTF、ASTFのアンチ・ドーピング活動の推進
      - 国際審判員用教育DVDの作成及び活用
    - 国際大会の開催促進
      - \*国際競技大会の参加種目への招致活動及び大会運営を支援する。
        - 第6回東アジア競技大会(2013年天津)の準備。
        - 第17回アジア競技大会(2014年仁川)の準備。
        - 第7回東アジア競技大会(2017年)・第18回アジア競技大会(2018年)への招致活動。
      - 国際組織(ISTF、ASTF)への活動
        - 2012年アジア選手権大会(中華台北)の運営を支援
        - 各国の協力体制、財政基盤の確立、組織運営について検討する
        - 英語版ウェブサイト(ASTFまたはISTF)の構築による国際情報発信の推進

[各事業を推進するための組織と財政の強化]

- 組織と財政の強化を推進する。
  - 公益財団法人としての高い社会的信用を維持し、公益目的事業を行う。
  - 会員登録制度の推進を図る。
    - 会員登録制度の定着および充実
    - 会員登録手続きの効率化
    - 会員報の発行
    - 登録状況の把握と改善
  - 記念事業準備
    - 2014年の日本ソフトテニス連盟創立90周年記念事業(1924年創立)の準備を行う。
  - 長期基本計画2012に基づく課題について計画初年度として検討し、その対策を図る。

平成24年度収支予算書(平成24年4月1日～25年3月31日)

一般会計収支予算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

単位：千円

科 目	予算額
I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
(1) 基本財産運用収入	1,000
1. 基本財産運用収入	1,000
(2) 会費収入	295,010
1. 支部分担金	7,500
2. 会員登録料	254,050
3. 維持会費	33,460
(3) 事業収入	144,745
1. 大会参加料	23,774
2. 出版物収入	18,500
3. 用具検定費	25,000
4. 公認審判員収入	61,740
5. 技術等級認定料	6,600
6. 機関誌関係費	9,131
(4) 補助金等収入	100
1. 補助金収入	100
(5) 協賛金寄付金収入	7,850
1. 協賛金	7,750
2. 寄付金	100
(6) 雑収入	2,950
1. 受取利息収入	50
2. 広告料	1,700
3. 雑収入	1,200
(7) 他会計からの繰入金収入	485
1. 募金会計	485
義援金収入	0
1. 東日本大震災義援金	0
事業活動収入計	452,140
2. 事業活動支出	
(1) 事業費支出	190,265
1. 指導要領等作成費	2,000
2. 審判検定会・研修会	1,600
3. 地域グループ育成費	60,960
4. 大会開催関係費	47,368
5. 地域大会補助費	4,300
6. 大会役員関係費	4,200
7. その他大会関係費	1,000
8. 公認審判関係費	16,550
9. 技術等級関係費	1,335
10. 用具施設証作成費	1,300

科 目	予算額
11. 広報活動費	38,652
12. 表彰費	11,000
13. 東日本大震災復興支援費	0
(2) 管理費支出	142,046
1. 人件費	45,593
2. 会議費	15,500
3. 会員登録関係費	28,000
4. IT関係費	13,000
5. 一般管理費	32,703
6. 運営費補助	7,250
(3) 加盟費支出	800
1. 加盟費	800
(4) 他会計への繰入金支出	121,886
1. 助成事業特別会計	97,435
2. 国際特別会計	22,300
3. 傷害補償制度特別会計	2,151
事業活動支出計	454,997
事業活動収支差額	△ 2,857
II 投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	
(1) 資産取得資金積立金取崩収入	110,000
1. 資産取得資金積立金取崩収入	110,000
投資活動収入計	110,000
2. 投資活動支出	
(1) 職員退職金支出	1,500
1. 職員退職金支出	1,500
(2) 資産取得資金積立金支出	30,000
1. 資産取得資金積立金支出	30,000
(3) 資産取得費支出	160,000
1. 資産取得費支出	160,000
投資活動支出計	191,500
投資活動収支差額	△ 81,500
III 財務活動収支の部	
1. 財務活動収入	
(1) 長期借入金収入	50,000
1. 長期借入金収入	50,000
財務活動収入計	50,000
2. 財務活動支出	
(1) 長期借入金返済支出	4,000
1. 長期借入金返済支出	4,000
財務活動支出計	4,000
財務活動収支差額	46,000
IV 予備費支出	11,643
当期収支差額	△ 50,000
前期繰越収支差額	50,000
次期繰越収支差額	0

助成事業特別会計収支予算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

単位：千円

科 目	予算額
I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
(1) 事業収入	
1. 大会参加料	5,040
(2) 補助金等収入	70,620
1. 補助金収入	70,620
(3) 協賛金寄付金収入	13,300
1. 協賛金	13,300
(4) 雑収入	5
1. 受取利息収入	5
(5) 他会計からの繰入金収入	97,435
1. 一般会計	97,435
事業活動収入計	186,400
2. 事業活動支出	
(1) 事業費支出	186,400
1. 競技力向上費	162,550
2. 指導者育成事業費	7,420
3. 大会開催等関係費	11,730
4. スポーツマスターズ参加支援費	4,700
事業活動支出計	186,400
事業活動収支差額	0
II 投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	0
投資活動収入計	0
2. 投資活動支出	0
投資活動支出計	0
投資活動収支差額	0
III 財務活動収支の部	
1. 財務活動収入	0
財務活動収入計	0
2. 財務活動支出	0
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
IV 予備費支出	0
当期収支差額	0
前期繰越収支差額	0
次期繰越収支差額	0

国際特別会計収支予算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

単位：千円

科 目	予算額
I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
(1) 協賛金寄付金収入	3,000
1. 協賛金	3,000
(2) 雑収入	100
1. 受取利息収入	100
(3) 他会計からの繰入金収入	22,300
1. 一般会計	22,300
(4) 国際大会積立金取崩収入	3,500
1. 国際大会積立金取崩収入	3,500
事業活動収入計	28,900
2. 事業活動支出	
(1) 事業費支出	27,800
1. 会議費	800
2. 視察費	400
3. 親善大会費	1,100
4. 普及指導費	15,000
5. 普及指導教材費	1,000
6. 用具費	2,000
7. 大会振興費	4,500
8. 活動促進費	1,000
9. 国際大会派遣費	2,000
(2) 管理費支出	212
1. 一般管理費	212
(3) 国際大会積立金支出	6,000
1. 国際大会積立金支出	6,000
事業活動支出計	34,012
事業活動収支差額	△ 5,112
II 投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	0
投資活動収入計	0
2. 投資活動支出	0
投資活動支出計	0
投資活動収支差額	0
III 財務活動収支の部	
1. 財務活動収入	0
財務活動収入計	0
2. 財務活動支出	0
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
IV 予備費支出	0
当期収支差額	△ 5,112
前期繰越収支差額	5,112
次期繰越収支差額	0

傷害補償制度特別会計収支予算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

単位：千円

科 目	予算額
I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
(1) 雑収入	1
1. 受取利息収入	1
(2) 他会計からの繰入金収入	2,151
1. 一般会計	2,151
事業活動収入計	2,152
2. 事業活動支出	
(1) 事業費支出	2,000
1. 傷害補償金	2,000
(2) 管理費支出	152
1. 一般管理費	152
事業活動支出計	2,152
事業活動収支差額	0
II 投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	0
投資活動収入計	0
2. 投資活動支出	0
投資活動支出計	0
投資活動収支差額	0
III 財務活動収支の部	
1. 財務活動収入	0
財務活動収入計	0
2. 財務活動支出	0
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
IV 予備費支出	0
当期収支差額	0
前期繰越収支差額	0
次期繰越収支差額	0

募金会計収支予算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

単位：千円

科 目	予算額
I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
(1) 協賛金寄付金収入	500
1. 免税金	500
事業活動収入計	500
2. 事業活動支出	
(1) 事業費支出	15
1. 免税手数料	15
(2) 他会計への繰入金支出	485
1. 一般会計	485
事業活動支出計	500
事業活動収支差額	0
II 投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	0
投資活動収入計	0
2. 投資活動支出	0
投資活動支出計	0
投資活動収支差額	0
III 財務活動収支の部	
1. 財務活動収入	0
財務活動収入計	0
2. 財務活動支出	0
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
IV 予備費支出	0
当期収支差額	0
前期繰越収支差額	0
次期繰越収支差額	0

会員証への氏名の印字は、「フリガナ」のみが印字されます。会員登録手続き時の会員氏名の「フリガナ」入力、正確に慎重をお願いします。



平成24年度 大会日程並びに開催地一覧

	大会名	開催地	日 程		
主 催 大 会	第7回アジア選手権大会日本代表予選会	大阪府・大阪市	5月3日(木)～5日(土)		
	第19回全日本シニア選手権大会	山形県・山形市	5月19日(土)・20日(日)	(九州)	
	男子第57回・女子第56回 全日本実業団選手権大会	東京都・世田谷区他	7月27日(金)～29日(日)	長崎県・佐世保市	
	第29回全日本小学生選手権大会	島根県・出雲市他	8月2日(木)～5日(日)	山梨県	
	第40回全日本社会人選手権大会	新潟県・新潟市他	9月1日(土)・2日(日)	(北海道・東北)	
	第19回JOC杯・全日本ジュニア選手権大会	広島県・広島市	9月8日(土)・9日(日)	広島県・広島市	
	第16回全日本シニア選手権大会	千葉県・白子町	9月14日(金)～16日(日)	(近畿)	
	第67回天皇賜杯・皇后賜杯 全日本選手権大会	鹿児島県・鹿児島市	10月26日(金)～28日(日)	茨城県・神栖市	
	第26回日本実業団リーグ	京都府・福知山市	11月2日(金)～4日(日)	京都府・福知山市	
	第19回全日本クラブ選手権大会	千葉県・白子町	11月3日(土)・4日(日)	千葉県・白子町	
ス ポー ツ 拠 点 事 業	第30回日本リーグ	広島県・広島市	12月6日(木)～8日(日)	広島県・広島市	
	第58回全日本インドア選手権大会	大阪府・大阪市	25年 2月24日(日)	大阪府・大阪市	
	日本リーグ入替戦	愛知県・名古屋市	25年 2月9日(土)・10日(日)	愛知県・名古屋市	
	第7回ジュニアジャパンカップ「競技者育成プログラム(Step-4)」	宮崎県・宮崎市	11月23日(金)～26日(月)	宮崎県・宮崎市	
	第24回都道府県対抗全日本中学生大会	三重県・伊勢市	25年 3月26日(火)～28日(木)	三重県・伊勢市	
	第12回全国小学生大会	千葉県・白子町	25年 3月29日(金)～31日(日)	千葉県・白子町	
	共 催 大 会	第41回ハイスクールジャパンカップ	北海道・札幌市	6月22日(金)～24日(日)	北海道・札幌市
		西日本シニア選手権大会	沖縄県・沖縄市	6月30日(土)・7月1日(日)	
		第67回東日本選手権大会	山梨県・笛吹市他	7月14日(土)・15日(日)	
		第66回西日本選手権大会	佐賀県・佐賀市	7月21日(土)・22日(日)	
全日本高校選手権大会(男子)		新潟県・新潟市	8月11日(土)～14日(火)	(九州)	
全日本高校選手権大会(女子)		新潟県・新潟市	8月7日(火)～10日(金)	(九州)	
全日本学生選手権大会		山口県・宇部市他	8月3日(金)～8日(水)		
第39回全日本レディース大会(個人戦)		埼玉県・熊谷市	8月5日(日)～7日(火)	徳島県	
第43回全国中学校大会		山梨県・甲府市	8月17日(金)～19日(日)	愛知県・一宮市	
第34回全日本レディース決勝大会(団体戦)		東京都・江東区	8月28日(火)～30日(木)	東京都・江東区	
国 際	日本スポーツマスターズ2012	高知県・高知市	10月20日(土)～22日(月)	福岡県・北九州市	
	第67回国民体育大会	岐阜県・瑞浪市他	9月30日(日)～10月3日(水)	東京都	
	第38回全日本高校選抜大会	愛知県・名古屋市	25年 3月29日(金)・30日(土)	愛知県・名古屋市	
	第20回日・韓・中ジュニア交流競技大会	韓国・光州市	8月23日(木)～29日(水)	(中国)	
	第7回アジア選手権大会	中華台北・嘉義市	11月14日(水)～21日(水)		
その他	第25回ねりんピック2012	宮城県・仙台市	10月13日(土)～15日(月)	高知県	

◇諸事情により変更となる場合があります。  
◇上記大会では、ドーピング検査を実施する可能性があります。